

■総会 Report

職員の紹介

—自己紹介—

日本風力発電協会 情報技術局長 海津信廣

経歴

平成 25 年 11 月 15 日に情報技術局長に就任しました、海津信廣と申します。

生まれは千葉県南房総市和田町、捕獲が認められている小型のクジラの解体場があるところ。学生時代の専攻は土木工学、昭和 57 年に電力会社に入社してから、火力発電所のアセス・設計・建設、耐震技術の研究、PFI、洋上風力の建設、原子力発電所の復旧、除染等の業務を行ってきました。

風力発電との出会い

平成 22 年 7 月から約 1 年間、着床式洋上風力発電の実証研究に取り組みました。当時は、風力発電システム、観測タワーの設計・施工の段階でしたので、大臣認定用の設計図書の確認、フローティングドック上で建設した重力式基礎の工事・安全管理、タワー定着部の模型実験等に携わりました。

基礎の建設工事は、工程確保のため冬場で夜間作業も行いましたので、寒い中での厳しい環境での作業となりました。

模型実験では、タワーと基礎接合部の耐力が十分確保されていることが確認でき、安全性に対する信頼度が増しました。

JWPA での業務

JWPA で仕事をしてみて、風力発電に関する知識、経験の大きな違いを実感しております。

まずは風力発電所がどのようなものか実感するため、風車の形状、機器の構成、回転数、風車音などを見たり聞いたりしてきました。晴れた日の風車は空の青とマッチして、美しいと感じることが多かったです（写真を掲載します）。

JWPA では、環境部会、技術部会の活動のサポートをさせていただいております。アセスの迅速化、洋上コストの低減、風車の安全対策などの課題に対し、データや事実に基づき真摯に取り組んでいきたいと考えております。どうぞ皆

様のご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



かみす第一洋上風力発電所



神栖風力発電所



宮川風力発電所